



令和元年度行政評価 役場の仕事



町では、町民との情報共有、成果を重視した行政運営への転換、限られた財源の有効活用、総合計画の進捗管理などを目的に行政評価に取り組んでいます。

はじめに役場内部で平成30年度に町が実施した主要な施策、事業事業を評価し、その後、内部評価の結果をもとに、町民21人が構成される「下川町総合計画審議会」において、3つの部会に分かれて評価を実施しました。

その評価結果について、11月14日に筒渕会長から町長へ報告されましたので、町民委員からの主な意見を紹介します。

なお、町のホームページから、行政評価結果（中間報告書）をご覧になれます。

トップページ→行政情報→総合計画審議会
(<http://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/>)



△筒渕会長から町長へ中間報告書が渡されました。

町民委員の主な意見

福祉・教育部会

※紙面の都合上により、報告書から一部抜粋し、表現を変えていふところがあります。



☑「高齢者支援」

ふれあい広場に関しては、費用面や集客面、あけぼの園利用者と一般来訪者との世代交流の困難さなどの様々な課題があるため、社会福祉協議会と連携しながら開催方法を総合的に協議し進めていただきたいと思います。

☑「消防・救急救助」

また、あけぼの園においても、人材不足が課題であり、学生の確保も重要視されま。他地域の専門学生とのつながりを強め、あけぼの園への就職につなげる方法も検討していただきながら、人材確保に配慮した運営をお願いします。

☑「生涯学習・スポーツ」

現状では公民館講座の実施が不十分であることから、スポーツ少年団の指導者不足などの課題に対応した公民館講座を実施したり、生涯学習においても各種講座などを活用し、学習機会の創出を図っていただきたいと思います。

また、町民の健康のためスポーツが担う

快適環境・地域づくり部会

役割は大きいと考えることから、ニーズを把握し、より多くの町民がスポーツを通じた健康づくりが出来る機会を創出していただきたいと思います。



産業経済部会

☑「農業」

新規就農ではなく、農業従事者を希望する方が多く散見されます。下川町の農業を維持していくためには、農業者を増やすのも重要ですが、農業従事者を確保することも重要です。そのためにも新規農業従事者に対する支援策も検討していただきたいと思います。



☑「観光創造」

最近では、釣りや川歩き、町民祭のお祭りなどのアクティビティやイベントが増えつつあり、町外からの観光客が町内で時間を使えるようになってきたと感じます。これら民間の取り組みはまだ小さな取組みのものもありますが、観光振興計画に基づき、育てていくことが必要だと思います。

【お問い合わせ】

政策推進課

☎ 412511内線233
★41251102



行政評価とは？

行政運営全般の見直し、改善を進めていくための「しくみ」です。町の様々な仕事について、必要性、成果、効果などを評価し、評価結果を総合計画や予算編成に活用します。

町政運営の基本となる最上位の計画です。まちづくりの方向性や町政運営の指針、目指す将来像、将来像の実現に向けて取り組む施策や事業などを位置付け、中長期的な展望に立ち、計画的に町政運営を行っていくための基本となる計画です。

総合計画とは？

行政運営全般の見直し、改善を進めていくための「しくみ」です。町の様々な仕事について、必要性、成果、効果などを評価し、評価結果を総合計画や予算編成に活用します。